

南城市教育委員会生涯学習課	連絡先 0 9 8 - 9 1 7 - 5 3 6 9 yagi00580@city.nanjo.okinawa.jp
---------------	--

令和3年度 地域学校協働活動推進事業計画

1. 令和3年度 コーディネーターの配置

担当	コーディネーター	連携ボランティア団体	登録者数
統括コーディネーター	當眞 美寿々		40名 (LINE 登録者数)
知念地区 地域コーディネーター	前城 和代	ちにな太陽の会	76名
	村田 君江		
玉城地区 地域コーディネーター	高嶺 常子	ミントウンの会	89名
	港川 厚子		
大里地区 地域コーディネーター	山田 つたえ	うふざとうぬ会	59名
佐敷地区 地域コーディネーター	古謝 久子	さしちぬ会	77名
放課後子ども教室コーディネーター	宮脇 明紀		22名
	嶺井 夏美		

2. 運営委員会・ボランティア交流会の開催

日付	開催項目
令和3年 11月11日(木)	第1回地域学校協働本部運営委員会
令和3年 12月10日(水)	島尻カフェ (島尻地区コーディネーター交流会)
令和4年 2月10日(木)	第2回地域学校協働本部運営委員会
日程未定	南城市学校支援ボランティア交流会

3. 令和3年度 進捗状況について

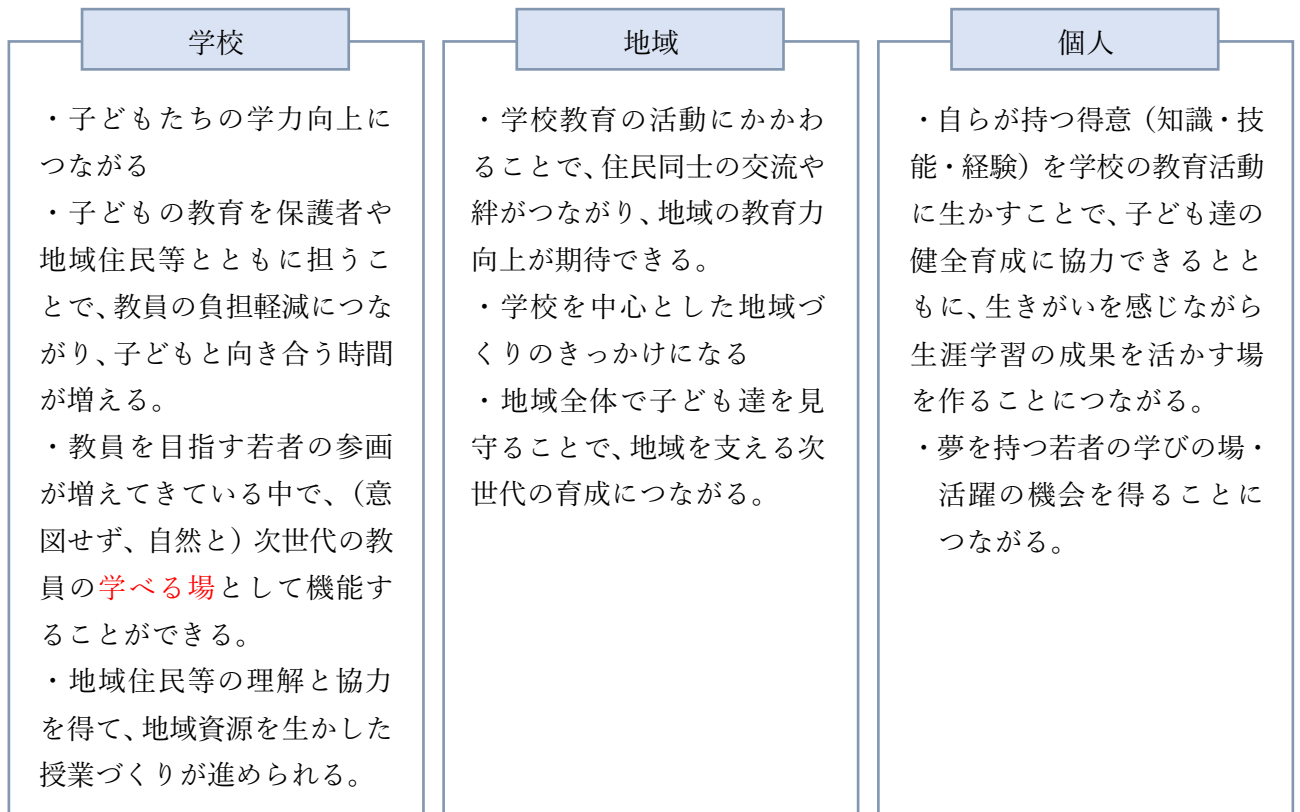
I. 協働とは・・・

市民、自治会、NPO、ボランティア団体、市民団体、企業、教育機関、行政などが、地域や社会の課題解決に向けてお互いの持っている良いところや特性を持ち寄って、お互いの可能性を広げながら一緒に取り組むこと。

子ども達が能力を育み、成長するために必要な機会にアクセスでき、健全に育つ環境を作るためには、『地域ぐるみで共に育ちあう』

仕組みを連携して築いていく必要がある。

II. 地域学校協働活動における期待される効果



III. 重点努力事項

① コーディネーターを中心とした連携

・定期的に地域コーディネーターやボランティア団体等で情報交換会を行い、各学校の要望、ボランティア(人材)の把握、活動内容等について共有し、4地区の壁を越えて南城市全体で学校の支援ができるよう連携する。また、必要に応じてキャリアコーディネーターやSSW、PTA等とも連携して積極的な人材活用と領域の拡大を図る。

② ボランティア活動の情報発信と若者の参画

・ボランティアの活動内容を広報や南城市公式ホームページ、SNS等で情報発信し、市民へ学校支援ボランティアの存在を知ってもらう。また、県内大学と連携し、学生がボランティアに参加できるようアプローチしていく。

C (課題)

P (計画) D (実行)

A (改善)

教育委員会各課・
学校の連携強化と
フォロー体制
の構築

- I. 定期的な情報交換会の開催
→各コーディネーターとの情報交換会を1
回開催。
- II. 各地域の人材共有
→公式 LINE アカウントを利用して、ボラン
ティア募集をし、人材の共有を行っている。
- III. 生涯学習課・教育指導課・学校との連携。
お互いのフォロー体制の構築。
→教育指導課で募集している各支援員を生涯
学習課でも人材探しをした。

- I. 各コーディネーターが持っている情報や
ノウハウを共有し連携しながら、コーデ
ィネート力の向上に努める。また、コーデ
ィネーター全員が窓口になれるよう努
める。
- II. 今後も公式ラインアカウントを活用し、
4 地区での人材の共有に努める。
- III. 学校だけでは解決できない課題を各課で
情報共有し、連携をしながらフォロー体
制の構築に努める。

ボランティアの
情報発信と
幅広い年代の参画

- I. 大学や専門学校にボランティア募集の呼び
かけ。→県内大学・専門学校へ訪問しボラ
ンティア募集のチラシの掲示を依頼。
- II. ボランティア証明書の作成
→ 賞状様式、リスト様式の2種類を作成
- III. 公式 LINE アカウントを活用し、若者が気軽
に情報を受け取れるシステムを構築する。
→公式 LINE アカウントにての情報を発信。

- I. 学生のボランティア希望者は増えてきて
いるが、一般市民の参画が少ないため募
集方法を検討する。
- II. ボランティア証明書の発行に伴い、学校
へ押印が必要な場合があるため、学校側
の負担にならないよう検討する。
- III. 情報を全体へ一斉発信するだけでなく、
必要に応じてボランティア希望者のニー
ズに合わせて個別に連絡をするよう努
める。

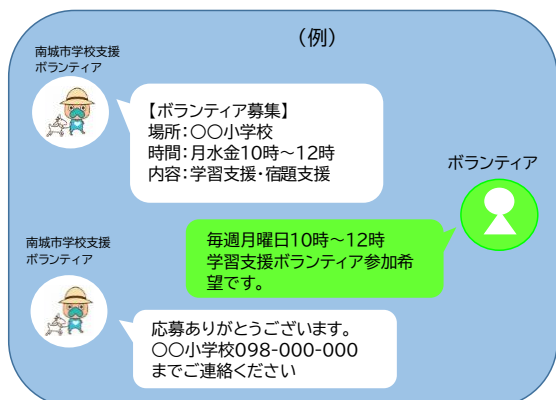
ボランティアと
教員の協調が課題

- I. ボランティアに入る際の心得の作成
→心得を作成し、ボランティアに入る前に
配布している。
- II. 学校側のニーズの確認
→各地域コーディネーターは学校のニーズ
を常に確認し、統括コーディネーターに報
告している。

- I. 心得は必要に応じて学校側と調整しなが
ら改善していく。
- II. ボランティアと教員の希望をきちんと把
握し、双方の希望に合うよう適切にコーデ
ィネートする。

学校支援ボランティアの公式 LINE 活用

南城市学校支援ボランティアの 公式ラインアカウントを作成



ボランティアの募集内容を登録者へ一斉配信



南城市学校支援ボランティア

募集!! 学生・社会人問わず、どなたでも参加OK!!

南城市では小・中学校の生徒を対象に学習やクラブ活動、環境整備等の支援を地域ボランティアで行っています!

ボランティア参加者には就職活動で**アピール**できるボランティア活動証明書を発行します!

LINE公式アカウント

はじめました!! LINEでは**南城市学校支援ボランティア**の情報を配信しています!

QRコードを読み込んで友達登録しよう!!

LINEを使って学校からの要望をスピーディーに情報発信し、手間と時間をかけずにマッチングが可能!!

- ・成人式や小学校の保護者説明会などで告知し、ボランティアの募集や放課後子ども教室のスタッフ等の募集のツールに!!
- ・LINE公式アカウントでは一斉配信が出来る他にも、チャット機能もあるため、個別の相談を受けることも可能です。